

第２期鹿児島県ギャンブル等依存症対策推進計画素案に対する パブリックコメントの結果

番号	意見の概要	回答案
1	P6 基本理念 ○ ギャンブル等依存症は、インターネットやゲームとの親和性が高いため、若年層からの発症予防を図ります。 →弊会では上記の科学的な知見は存在していないと認識している。科学的根拠をもった記載を行うべきである。そうでない場合、インターネットやゲームの利用がギャンブル依存症になりやすいと捉えられかねない。	文部科学省作成の指導参考資料『「ギャンブル等依存症」などを予防するために』では、インターネットやゲームは「いつでも、どこでもできる」ことから、行動嗜癖に陥る要因となり、ギャンブル等依存症へつながる危険性が示されています。